

水稲有機栽培における機械除草を中心とした除草体系

【1 成果の概要】

水稲の有機栽培では、**図1の除草体系**により、雑草害による減収を防ぐことができます。



図1 水稲有機栽培における機械除草体系

(1) 除草効果・収量

- ・ 図1の除草体系により、発生する雑草の**約8～9割を除草**することができます。
- ・ 実証試験では、地域の有機栽培の平均収量より**2～4割増収**しました。

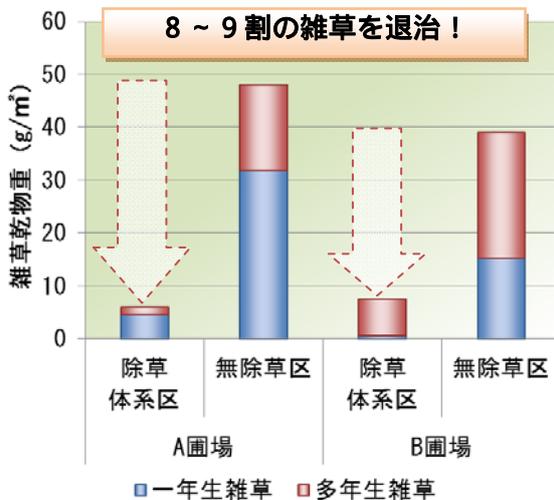


図2 除草効果

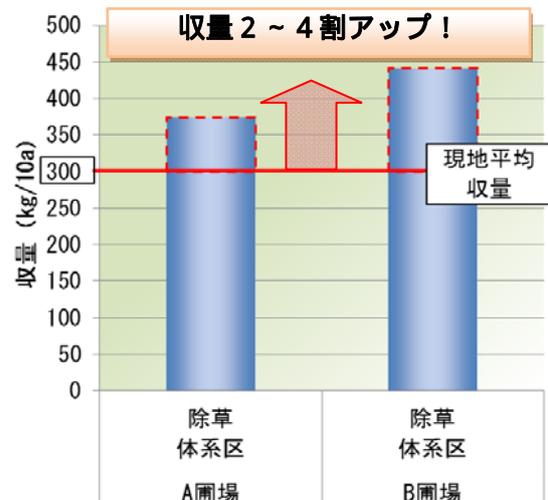


図3 収量

(2) コスト

- ・ 除草に掛かるコストは、実証地域で行われている「歩行型除草機」+「手取り除草」の除草体系より**約5,000円/10a低くなります。**

【2 留意事項】

- ・ 機械除草での雑草の取りこぼしが多い場合は、収量への影響が大きくなることから、7月上旬頃に補完的に手取り除草等の対応が必要となることがあります。
- ・ 有機JAS認証を取得する場合は、導入する技術の適用の可否を認証団体に確認してください。